

広島城下絵屏風に見る 生き生きと町人が暮らす 川の城下町 広島

The Castle Town Hiroshima: a Beautiful City of Rivers and Bridges

スマートフォンやカメラで広島の街をパチリ。そんな今から通ると200年前の広島は、当時の画家による絵屏風の中に、現代の写真と変わらないほど生き生きと見ることが出来ます。毛利輝元が建てた広島城を中心に城下町となった広島ですが、実は当時の西国街道は広島城下より北を走っていました。しかし毛利氏から広島城を引き継いだ福島正則は、広島城下を西国街道が東西に貫通するように移設、西国街道そいにお屋敷も移動させ一帯を町民の居住区にしました。この時の賑わいが今の広島の色やかき息づいているというわけです。

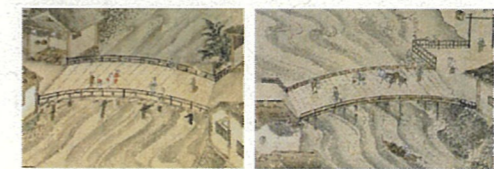
西国街道は町民も商人も、武士も大名も、当時のあらゆる身分の人たちが利用していた大切な道路でした。道を行き交う人たちの姿を見ればそれは一目瞭然。刀を差した武士に、荷物を馬に乗せて運ぶ商人、立ち話をする町民たち、ずらりと軒を並べた店の中には職人、と現在と変わらない生き生きとした広島の色や暮らしを見ることが出来ます。

An old painting on a folding screen portrays the city as the artist envisioned it in the Edo period. Here you can see a bustling center of commerce, with people from the different castes clearly represented: the Nobles, the Samurai, the Peasants, and the Chonin (merchants, craftsmen and artisans).



広島らしい「川沿い」で西国街道をご案内しましょう。屏風の右端に見えるのが備前川の橋。現在の駅南、松原町です。その下の備前橋を西へ進むと見えてくるのが、京橋川。京橋を渡り、街道沿いに直った向こうの小さなお屋敷は現在の蔵川町です。そして、その西に見える城壁沿いの大きなお屋敷が八丁堀、その先の賑やかなところが現在の本通り。屏風に描かれたたくさんの川やお屋敷が、広島が今も昔も水運によって発展してきた川の城下町であることを教えてくれます。

The pine trees at the right end of the screen mark the Enko River. The bridge across that river is the Enkobashi Bridge, now located in front of Hiroshima Station to the left. Traveling down the Saigoku Kaido to the West, the next bridge we encounter is the Kyobashi Bridge. The castle moat ahead is Hacchobori (Bori [hori] means "moat"). The wide, lively street across Hacchobori is the present Hon-dori, which is still the busiest downtown shopping area in Hiroshima city.



From this folding screen we can see an illustration of how the Saigoku Kaido was the lifeline for the people of Hiroshima, and how the rivers and the bridges played important roles for the development of the city of Hiroshima.



広島城で実際の「広島城下絵屏風」が観れます。
公益財団法人広島市文化財団 広島城
公開時間：9:00-18:00(3月-11月) 9:00-17:00(12月-2月)
入場料は無料(30分程度)
入場料/大人370円/シニア(満65歳以上)280円/中学生以下150円
〒730-0011 広島市中区基町1番1号
TEL 082-221-7512 FAX 082-221-7519

西国街道

文化の大動脈

賑 西国街道を盛り立てた 活気溢れる粋な広島商人たち

A Vivid Depiction of Merchants in the Meiji Period



明治時代の買い物を覗いてみると、当時の西国街道の生き生きとした広島商人の姿が見えてきます。人力車が走り回り、たくさんの品物が並ぶ商店の賑わいに行き交う商人たち。本通りにあった和菓子屋さんの軒先では、店先に座ってお饅頭をほおぼる町人たちの姿も、京橋のたもとのお醤油・味噌屋には味噌樽が並んでいます。仏壇通りにはもちろん寺と変わらぬ仏具屋さん、呉服屋さんにはずらりと反物の棚が見えます。船からも品物を運ぶことができた西国街道は、物流の中心であり、食や芸術・文化の最先端が揃う場所でもありました。

This merchant guide book from the Meiji period (which followed the Edo period) shows the continued importance of the Saigoku Kaido as a route which brought prosperity to the people of Hiroshima. The Uger figure is the symbol of a sweets shop that used to be located along Hon-dori. People are enjoying sweets just out of pot at the shopfront. The shop beside the bridge has a lot of miso and soy sauce barrels inside. There used to be many shops selling Buddhist altar fittings along Bustudan-dori; Bustudan means Buddhist altars.

巡 川をめぐれば、西国街道が見えてくる

The Saigoku Kaido and the rivers

備前川に京橋川、元安川に本川、西国街道をたどる旅は、ともに広島を支えてきた川沿いの旅でもあります。舟運の歴史にちなみ、定期的に行われていた川ざらえですが、文久2年には、お祭り「砂持加勢」として行われました。川からつかぎあげた砂を運びながら、人々が山車を引き活き活きと歩いていた同じ街道を、私たちは今日も歩いているのです。

Starting at Hiroshima Station, if you continue walking west along the route of the old Saigoku Kaido, you will cross a total of four rivers before you leave the city. Towards the end of the Edo period, a festival called Sunamochi Kasei was held to celebrate the periodic dredging of the river bottoms, which had to be done to ensure they remained navigable.



ひろしまの歴史が分かる散策マップ
ひろしま八区ぐるっと散策「みちめぐり」
広島市市民局が発行している「ひろしま八区ぐるっと散策「みちめぐり」」にも西国街道が紹介されています。

ぐるっと散策 検索

広島市市民局 市民活動推進課
〒730-8586 広島市中区基町1番1号
Tel.082-504-2677 Fax.082-504-2066

制作 広島仏壇通り活性化委員会

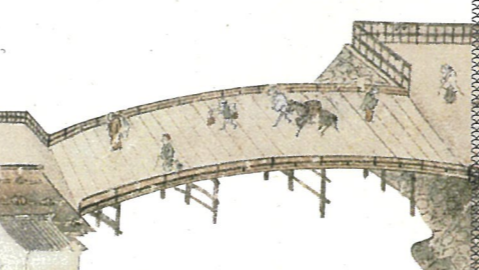
西国街道

文化の大動脈

西国街道

The Saigoku Kaido Highway
the Road that Led to Hiroshima's Prosperity

渡るうよ
歩こうよ
賑わいと
人をつないだ
西国街道
いまむかし



知 広島文化と流通を足元から支える広島の大動脈 西国街道

The Saigoku Kaido Highway—the Road that Led to Hiroshima's Prosperity



「西国街道(近世山陽道)」を知っていますか?
時は庶民の文化が開いた江戸時代。京都と太宰府をつなぐ、人々が忙しく行き交う街道がありました。その距離なんと、約650km。下関から関門海峡を越えて九州に入るこの街道は、各藩の大名が將軍の命に従って行はる江戸まで「参勤交代」した道であり、日本橋から長崎をつなぐ重要な幹線道路の一部でもありました。様々な身分の人々で賑わった西国街道は、文化と交易の大動脈として広島の人々を支えていたのです。
時は今。私たちがショッピングをしたり、美味しいものを食べたりしている広島を中心地も、実はこの西国街道。駅から備前橋・京橋を渡り、本通、そして平和公園へ、江戸の昔からこの同じ場所、人々は街の賑わいを創り続けてきました。
広島を足元から見守り続け、広島のあるゆる今昔を知っている、西国街道。今度は、私たちが知る番です。

During the Edo period (1603 - 1868), the government constructed highways (kaido) in an effort to improve Japan's domestic economy. The old kaido which connected Shimonoseki to Kyoto was called the Saigoku Kaido. This Saigoku Kaido was an important route for the period because it connected the Nihonbashi business district in Tokyo (Edo) to Nagasaki, the only port where foreign trade was permitted. The Saigoku Kaido also connected Hiroshima with Tokyo, and served as a distribution channel for merchandise produced in Tokyo, and as a channel for the distribution of the culture of Tokyo as well. Today, Hiroshima's equivalent of a downtown lies atop the footprint of the old Saigoku Kaido, stretching from Hiroshima Station to the Peace Park.